

レタス

ヨーロッパが原産と言われ、生のままサラダとして食べる野菜として親しまれているレタスは、ほとんどが水分と言われています。鮮度が落ちやすいので水気を切ってポリ袋に入れ野菜室で保存しましょう。

8月の農作業

平成15年発行：
JAハリマ「活き活き健康野菜づくり」より

作型

種は光が当たらないと発芽しないので、土は薄くかぶせる。酸性土壌と乾燥に弱い。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
秋 植 え								○	△	■			エムラップ231、極早シスコ、 オンタリオ、シスコ

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
醗酵鶏糞	40kg
野菜専用肥料	5kg
畝立時施用	

- ・畝幅120cm
- ・株間30cm(2条植、条間30cm)
- ・冬どりはフィルムマルチ(黒135cm)を行う。

灌水

- ・乾燥に弱いので表面が乾かないように灌水する。(生育を見て、液肥(200倍程度)の灌水も良い)

追肥

- ・結球開始期に野菜専用肥料4~5kg/aを施用する。

収穫

- ・玉を軽くおさえかたくしまりかけてから収穫する。



玉レタス

防除

種まき

- ・種をガーゼで包み、水に8時間浸す。冷蔵庫内で催芽(1~2mm)して、セルトレーまたは、ト口箱にまく。(夏まきの場合)
- ・覆土は薄くする。
- ・覆土が乾燥しないよう、新聞紙をかけ、発芽したら取る。

苗づくり

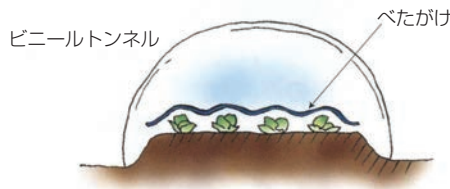
- ・本葉2枚の頃に9cmポットに移植する。

定植

- ・本葉4~5枚の時、浅植する。
- ・灌水し根つきを良くする。(早期活着を図る)(セルトレーの場合、本葉2~3枚で定植)



移植時の姿
本葉2枚



12月からの収穫は低温や霜傷にあうので、ビニールトンネルまたはパスライトのべたかけをする。

病害虫名	耕種防除	薬 剤 防 除
菌核病 灰色かび病	発病株を早めに除去 排水をよくする	ベンレート水和剤(2000~3000倍) 14日前まで4回以内 ベルクト水和剤(1000~2000倍) 30日前まで3回以内
べと病	排水をよくする	ダコニール1000(1000倍) 14日前まで 3回以内
アブラムシ類 ハモグリバエ カブラハバチ アオムシ	早めの薬剤予防 ハウス栽培 虫よけマルチ	モスピラン顆粒水溶剤(2000~4000倍) 前日まで3回以内

裏面は雑草図鑑 コヒルガオ・オオバコを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.316 平成29年8月17日発行

コヒルガオ

畑地、道端、空き地などに生育する多年草で長い地下茎があり、そこから芽を出す。地下茎を切断して拡散すると、小片からも芽を出し急速に増える。茎はツルになって地面をはい、他の物にからみつく。葉は互生して長い柄があり、基部は耳型で2片に分かれ、各片はさらに2片に切れ込む。ヒルガオと似ているが、基部が耳型なので区別できる。5～7月に朝顔形の花をつけるが全体がヒルガオより小型で3～4cmの淡紅色の花をつける。花筒と萼を挟み込むように三角状で長さ1～2cmの苞葉が2個つく。花柄の上部には縮れた翼がつく。

防除のポイント

耕起によって地下茎を切断すると小片からも芽を出し子株を作って増えるので注意する。黒マルチをすることによって作物を栽培しながら防除できる。発生してしまった場合は、移行性の茎葉処理剤ラウンドアップマックスロード（作物によって使用方法が異なるため要確認）を散布する。



畑で生育するコヒルガオ



コヒルガオ (開花期)



コヒルガオ (生育初期)

オオバコ

畑地、庭、道端などいたるところに普通に生育する多年草で、種子は濡れると粘着力を持ち靴の裏などについて広まっていくので、人の歩いたところによく生育する。太くて短い地下茎を持ち、葉は根際から出て柄があり卵形で数本の明瞭な脈が平行に走る。根茎からの再生力が強いことから、刈り込みを行ってもすぐに再生する。丈夫な平行脈が通っていることから折れたり倒れたりしにくく、踏みつけに対しても耐性を示す。4～6月に細長い数本の花茎を伸ばし、先に穂がつく。長さは10～20cmで、穂には花が密生する。

防除のポイント

根張りが良いので、引き抜くことは難しい。種子ができる前に移行性の茎葉処理剤ラウンドアップマックスロード（作物によって使用方法が異なるため要確認）を散布する。



畦道に生育するオオバコ



オオバコ (花穂)



オオバコ (生育中期)